

九州農政局管内の 農業支援サービス取組事例

令和8年9月
九州農政局

【利用上の注意】

農業従事者の高齢化、担い手の不足等により、現行の農業生産方式の維持が困難となっていく中、農業現場では、スマート農業機械のリース・レンタルを行うサービス、ドローンを利用した防除作業の代行サービス、経営データの分析を行うサービス等、様々な農業支援サービスが展開されているところです。

こうした中、九州農政局では管内で始まったこれら農業支援サービスの取組事例を収集し、ここで紹介しています。

なお事例の中で紹介するサービス事業体を九州農政局が推奨・認定するものではありませんが、農業現場が抱える課題に対しこうしたサービスを利活用していくことが農業生産の基盤強化に不可欠と考え紹介しているものです。

以下紹介している 各事例のお問合せについては、下記担当または、それぞれの「⑤連絡先等(事業者)」に直接ご連絡下さい。

お問合せ先：九州農政局生産部環境・技術課

TEL：096-300-6266

目 次

No.	支援サービス分類	営農分類	タイトル	県名 (市町村)	経営体名	サービス内容						
						播種	防除・施肥	収穫	レンタル・リース	人材派遣	データ分析	その他
1	専門作業受注型	水田作	ドローンによる防除作業受託	福岡県 (福岡市)	九電ドローンサービス株式会社		●					
2	専門作業受注型	水田作	ドローンによる防除作業受託	佐賀県 (小城市)	有限会社 悟空		●					
3	専門作業受注型	水田作	ドローンによる防除等の作業受託	佐賀県 (佐賀市)	株式会社 ABH		●	●				
4	専門作業受注型	水田作	ドローンによる防除作業受託	佐賀県 (佐賀市)	株式会社北山神水川ファーム		●					
5	専門作業受注型	水田作、畑作	水稻のドローン防除作業	長崎県 (長崎市)	JA長崎せいひ		●					
6	専門作業受注型	水田作、畑作、 露地野菜、果樹	ドローンによる防除等の作業受託	長崎県 (佐世保市)	株式会社Flight PILOT		●					
7	専門作業受注型 機械設備供給型	水田作、畑作	ドローンによる散布作業受託や農機レンタル	長崎県 (壱岐市)	MARINE FLIGHT	●	●		●			
8	専門作業受注型	水田作	ドローンによる防除作業受託	熊本県 (水上村)	本野防除機械利用組合		●					
9	専門作業受注型	水田作	中山間地域でのドローンの水稻防除作業	大分県 (中津市)	公益社団法人農業公社やまくに	●	●	●				
10	専門作業受注型 機械設備供給型	水田作、畑作、 露地野菜、果樹	地域密着型支援で広がる防除拠点 ～販売・講習・保守・受託を一体化した地域分散 モデル～	大分県 (中津市)	株式会社 Sami Sami ラボ		●					
11	専門作業受注型 機械設備供給型	水田作、畑作、 露地野菜、果樹	スマート農業の導入を全面支援	大分県 (大分市)	ciRobotics株式会社		●					
12	専門作業受注型	水田作	ドローンを活用した農業支援	熊本県 (上益城郡)	株式会社タスクル	●	●					
13	専門作業受注型	水田作	無人ヘリ・ドローンで水稻防除受託	宮崎県 (延岡市)	延岡スカイサービス株式会社		●					
14	専門作業受注型	水田作	無人ヘリ・ドローンによる防除作業受託	宮崎県 (日南市)	南那珂無人ヘリ防除協議会		●					
15	専門作業受注型	水田作、露地野菜	ドローンによる肥料・農薬散布	宮崎県 (都城市)	株式会社スカイウォーカー		●					●
16	専門作業受注型	水田作、施設園芸、 露地野菜	ドローンを活用した農薬散布	宮崎県 (宮崎市)	株式会社アグリプラス		●					●
17	専門作業受注型	露地野菜	ドローンによる防除作業受託	宮崎県 (串間市)	串間市かんしょ産地対策会議		●					

※水色の網掛けが今回追加分(計8事例)

目次

No.	支援サービス分類	営農分類	タイトル	県名 (市町村)	経営体名	サービス内容						
						播種	防除・施肥	収穫	レンタル・リース	人材派遣	データ分析	その他
18	専門作業受注型	施設園芸、 露地野菜、果樹、茶	データ分析で事業成長・収支改善支援	宮崎県 (宮崎市)	テラスマイル株式会社						●	
19	専門作業受注型 人材供給型	水田作、果樹	ドローン等を活用した農作業受託	宮崎県 (西臼杵郡)	株式会社ひのかげアグリ ファーム		●	●				●
20	専門作業受注型	水田作、畑作	ドローンによる防除作業受託	鹿児島県 (西之表市)	空種子合同会社		●					
21	専門作業受注型	水田作、畑作、 露地野菜、果樹	無人自動運転散布車両・ドローンによる防除作業受託	鹿児島県 (鹿児島市)	有限会社鹿児島船舶塗装工業所 アグリかわさき		●					
22	専門作業受注型 機械設備供給型	水田作、畑作、 施設園芸、畜産	ドローンによる防除・肥料散布作業の受託・レンタル	鹿児島県 (鹿児島市)	株式会社エアリアルワークス		●		●			●
23	専門作業受注型	水田作、畑作、 露地野菜	ドローンによる防除作業の受託	鹿児島県 (鹿児島市)	JA鹿児島県経済連		●					
24	専門作業受注型	畑作	KSASを活用したさとうきび農作業受託	鹿児島県 (大島郡)	有限会社南西サービス			●			●	●
25	人材供給型 専門作業受注型	野菜、果樹、茶 選果・加工、その他 作業	農業労働力支援・農作業受託	福岡県 (福岡市)	株式会社Newアグリ					●		
26	機械設備供給型	施設園芸	空気中のCO2をハニカムローターで濃縮・供給	福岡県 (古賀市)	株式会社 西部技研				●			
27	機械設備供給型	施設園芸	AI×自動収穫ロボットで農業はもっとスマートに	宮崎県 (児湯郡)	AGRIST株式会社			●	●		●	
28	機械設備供給型	畜産	遠隔監視カメラシステムによる畜産現場の省力化と効率化	鹿児島県 (大島郡)	株式会社Core-Support				●			
29	機械設備供給型	畜産	AIとカメラによるスマート畜産システムをサブスクで	鹿児島県 (鹿児島市)	ファーマーズサポート株式会社				●		●	
30	データ分析型	水田作	Agri Field Managerによる生産管理	佐賀県 (佐賀市)	株式会社オプティム	●	●				●	
31	データ分析型 機械設備供給型	施設園芸	AI灌水施肥システムによる作業の自動・省力化の実現	長崎県 (壱岐市)	株式会社ルートレック・ネットワークス				●		●	
32	データ分析型	施設園芸	データにより生産から流通まで農業を強くする	長崎県 (南島原市)	株式会社セラク						●	
33	データ分析型	露地野菜・茶	衛星データで生育状況を「見える化」	大分県 (竹田市)	株式会社 Agrie						●	
34	データ分析型	施設園芸	効率化、事故防止に繋がる重油残量遠隔監視システム	宮崎県 (西都市)	JAみやざき(宮崎中央、西都 地区本部)						●	

※水色の網掛けが今回追加分(計8事例)

①概要 九電ドローンサービス株式会社

- 電力事業で培ったノウハウと実績をもとに、ドローンによる点検や測量、農薬散布等を提供
 - ・ドローン操縦者数: 50名以上
 - ・機体取扱数: 140台以上(農薬散布機8台)
- 令和2年度から大分県を中心に「ドローン農薬散布サービス」を開始
- 令和4年度から九州内の全エリアに拡大中

②サービス内容・期待される効果等

- 農薬散布サービス
 - ・現地調査を行い、ドローン農薬散布に必要な申請書類の作成及び申請書提出まで含む。
 - ・中山間地や狭小な圃場でも飛行が可能。
 - ・飛行高度が低いため、薬剤飛散(ドリフト)が少ない散布が可能。
 - ・作業料金: 27,500円(税込)/ha
 - ・作業時間: 約20分/ha
- 期待される効果
 - ・農作業者の労働負荷を大幅に軽減可能
 - ・2ha/日 → 14ha/日と、約85%の労働時間の削減が可能(当社実績調べ)

③支援実績等

- 水稻を中心に令和5年度は約200ha実施。



④課題・今後の展開等

- 課題
 - ・オペレーターの育成・確保。
 - ・中山間地域の狭小農地への効率的な運用。

中山間地域や狭小な農地でも散布可能

薬剤の飛散が少ない

可能な限りご希望日に調整

無人ヘリやブーム散布と同等の効果(調査を参照)

10aあたりの散布基本料金*
※薬剤代を除く 税込み **2,750円**
(税抜き 2,500円)

⑤連絡先等(事業者)

九電ドローンサービス株式会社
電話番号092-981-0808(平日 9:00 ~ 17:00)
HP <https://www.kyuden-drone.co.jp/>

①概要 有限会社 悟空

- 佐賀県小城市で、運送事業、厨房機器設置事業等を展開。会社周辺が米、麦、大豆の生産地であり、地域において、ドローンによる防除作業の要望の声を聞いたことから、令和3年度より防除作業の受託を本格開始。

②サービス内容・期待される効果等

- 受託作目：米・麦・大豆
- 受託作業：ドローンによる農薬散布作業
- 作業料金：1,300円～／10a
(農薬、移動費等は別途。農薬は自己所有のものでも散布可。)
- 作業者数 6名(作業は3名体制で実施。6名全員がドローンメーカーが認定するドローン操縦の民間資格を有する。)
- 受託範囲：佐賀県内
- その他：佐賀県農業技術防除センターが発出する防除情報を常に確認し、適期防除に努めている。
- 効果：労働力負担の軽減、受託面積の拡大に伴う収益の拡大

③支援実績等

- 令和7年度防除面積 350ha



水稻 防除作業



麦 防除作業

④課題・今後の展開等

- 令和4年にドローンを新たに1機導入。

⑤連絡先等

佐賀県小城市三日月町金田876番地

TEL 0952-72-6195 FAX 0952-72-6196

<http://www.gokuu-saga.com>

佐賀県拠点(R8年5月)作成

①概要 株式会社 ABH

- 産業用ドローンを取り入れ、利用料を下げて地域貢献ができたらと考えたのがきっかけ。近隣の農業者に声かけを行い、平成30年10月に設立。
- 従業員数：8名（作業は2名体制で実施。全員がドローン操縦の民間資格を有する）
- ドローン所有数：4機

②サービス内容・期待される効果等

- 受託作目：米・麦・大豆
- 受託作業：ドローンによる農薬散布作業、追肥、水稻除草粒剤散布
大豆刈取り
- 作業料金：防除（麦） 1,600円/10a
防除（米・大豆）1,900円/10a
水稻除草粒剤散布1,200円/10a
大豆刈取り 7,500円/10a
（全て税込料金・農薬代は別途）
- 受託範囲：東与賀町内と近隣地域
- 効果：労働力負担の軽減、受託面積の拡大に伴う収益の拡大

③支援実績等

- 受託面積 1,500ha（令和7年度）



④課題・今後の展開等

- eMAFF地図と圃場データを使って、散布対象圃場をマッピングし可視化するソフトウェアの開発を検討中。ソフトウェアを活用して、受託範囲を佐賀県全域に拡大する計画。



⑤連絡先等

佐賀県佐賀市東与賀町田中966番地
TEL 090-2859-6082

①概要

ほくざんしおいがわ

株式会社 北山神水川ファーム

- 佐賀県佐賀市富士町において、中山間地域における農作業の受託や農地の受け皿となり広域に活動できる営農組織が必要という考えから、ドローン防除などの農作業受託を基幹業務とする営農組織として、令和3年4月1日設立。

②サービス内容・期待される効果等

- 受託作目：米・麦・野菜
- 受託作業：ドローンによる農薬散布作業
- 作業料金：2,500円／10a（中山間地）
（農薬費等は別途。）
- 作業人数 6名
（作業は3～4名体制で実施。オペレーターは操作免許保持。）
- ドローン導入台数は2機
（県単事業活用により導入）
- 受託範囲：佐賀県内
- その他：佐賀県農業技術防除センターが発出する防除情報を常に確認し、適期防除を実施。
- 効果：労働力負担の軽減、受託面積の拡大に伴う収益の向上

③支援実績等

○令和7年度防除実績 40ha



水稻 防除作業



露地野菜 防除作業

④課題・今後の展開等

- 富士町は山間地域であり、GPSの受信ができない圃場もあることから、オペレーターのドローン操作技術の向上が課題だったが、オペレーター2名を育成・確保することが出来た。
- 現在、水稻の病虫害防除、除草剤散布が主な作業。今後、小麦や露地野菜等の防除も対象とするなど、ドローンを活用した作業受託面積を増やすことが課題。

⑤連絡先等

株式会社 北山神水川ファーム

佐賀県佐賀市富士町大字中原483番地1

メール hokuzanshioigawa@b1.bunbun.ne.jp

TEL 090-6277-4057

佐賀県拠点(R8年5月)作成

①概要 JA長崎せいひ

○ JA長崎せいひは、中山間部における薬剤散布の省力化を図るため、平成29年から水稻、令和6年からばれいしょへの農業用ドローンによる防除作業を受託している。

②サービス内容・期待される効果等

○ 農業用ドローンによる農薬散布作業

・ドローン所有数：9機

〔DJI製：MG-1（2機）、Agras T-10（1機）、T-20（3機）、T-25（1機）、T-30（1機）、T-50（1機）〕

・オペレーター数：19名

・作業料金：3,700円前後／10a（農薬代込み）

・作業時間：約2分／10a

・受託範囲：長崎市、西海市、時津町、長与町、諫早市（多良見町）

・水稻及びばれいしょの防除作業において労力軽減ができる。



農業用ドローンによる水稻防除の様子→

③支援実績等

○ 受託実績（延べ面積）

令和6年	令和7年
565ha	602ha



利用者が年々増加し、それに伴い受託面積も当初13haから602haまでに拡大した。

④課題・今後の展開等

○ ドローン防除のニーズが高まる一方で、オペレーター育成も必要となることから、農業用ドローンの販売、技能講習、購入後の整備など、アフターフォローを含めたサービスを提供する予定。また、機体購入に際しての融資や損害補償などの相談にも応じることで安心して取り組める環境の整備を図る。

○ 令和7年には、びわ、柑橘の防除を試験的に実施しており、今後は幅広い品目への防除にも取り組みたいと考える。



↑ 毎年、ドローン防除作業安全講習会を実施しています

⑤連絡先等（事業者）

長崎県長崎市興善町6番7号 095-825-5604（代表）
JA長崎せいひ営農販売部

（長崎県拠点（令和8年3月）作成）

①概要 株式会社 Flight PILOT

- 業務内容:ドローンによる作業受託、ドローン機器等の販売、修理・点検、ドローンスクール(民間資格、国家資格「登録講習機関・登録更新講習機関」)によるオペレータ育成支援
- 従業員13名(内、9名がオペレータ資格保有)
- ドローン12台(農業用:5台、点検用:7台)
- ドローンによる水稻直播試験の他、水中ドローンやPW.ORCA(物流用ドローン)等社会課題解決に繋がる新規サービス事業の開拓

②サービス内容・期待される効果等

- 水稻の農薬散布に係る労力削減
 - ・散布費用:2,500円/10a(税別・農薬代別)
 - ・短時間で広範囲に散布可能
 - ・中山間地や狭小圃場でより効果的な労力削減
 - ・適期防除
- 農業用ドローンのオペレータ育成講習等による有資格者の増員とレベルアップ



③支援実績等

- ドローンによる防除実績
 - ・水稻で大規模に実施
 - ・果樹(みかん)、松、いも類等で実施
- 茶葉の生育観察などデータ解析支援
- 農業用ドローン防除面積(延べ)
 - ・6年度168.45ha→7年度237.90haと約40%増加



④課題・今後の展開等

- 農業支援サービスの拡大・拡充
 - ・防除作業の受託は、当社への個別依頼から農業者集団を通じての依頼にシフトしており、集団での受託人数が7年度は6年度比で約20%増加
 - ⇒JA等と連携強化し、集団防除サービスの拡大
 - ⇒防除以外の関連サービスのパッケージ化
 - ・NDVI:植生指数観察による散布品質向上や農薬使用量の適正化
 - ・ドローンスクールを通じた即戦力人材の育成拡充

⑤連絡先等(事業者)

会社名 株式会社 Flight PILOT

電話番号:0956-80-4625 HP: <https://www.a-area.jp/>



①概要 MARINE FLIGHT

- 業務内容:ドローンによる農薬・肥料散布や播種作業の受託、アイガモロボのリース、ドローンスクール(国土交通省認定登録講習機関)
- 2021年9月会社を設立
- 2022年に農薬散布及び播種作業の実証試験を行い、2023年より作業の受託を開始

②サービス内容・期待される効果等

- ドローン散布
【作業料金(税込)】:農薬 2,750円/10a ※農薬代別
肥料・播種 3,300円/10a
【機器/オペレーター数】農業用ドローン2台/6名
【作業時間】約8分/ha (即日対応可能)

- アイガモロボ
試験的に運用(リース料金、応相談)
- 農業者の知見及び実証に基づいたサービスを提供。
- 手作業や動力散布機による散布と比較して、1haあたり90%程度の時間短縮が可能となり、労働力不足解消につながる。



③支援実績等

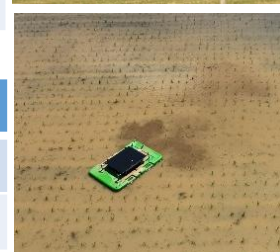
※延べ面積

○ 防除

	令和5年	令和6年
水稻	3ha	8ha
ばれいしょ	1ha	6ha

○ 播種

	令和5年	令和6年
WCS	0.2ha	1ha
イタリアン	0.3ha	0.8ha



④課題・今後の展開等

○課題

・新技術を活用した農作業に対する、農業者からの信頼を獲得する必要がある。

○今後の展開

・持続的な農業生産が可能となるよう、農家からの支援要請に幅広く対応できるサービス展開を目指す。



⑤連絡先等(事業者)

MARINE FLIGHT

長崎県壱岐市芦辺町諸吉二亦触1892番地1
TEL 0920-40-0233
HP <https://marineflight.jp/>

① 概要

本野防除機械利用組合

これまで、水稻の防除は隣町の無人ヘリを利用していましたが、適期防除が出来なかったため、ドローンを購入し、令和4年から水稻防除の受託作業を始めた。

【経営体の概要】

- ・水稻作業受託面積 約29ha
- ・受託戸数 21名
- ・組合員 13名
- ・オペレーター人数:5名
- ・導入機器:農業用ドローン2機(ヤンマー製・薬剤10ℓ)及び周辺機器(充電器2台、バッテリー20本)



② サービス内容・期待される効果等

○サービス内容

- ・1回の防除作業は、2名以上で実施。
- ・料金:3,500円/10a(税抜き、農薬代は別途)
- ・作業時間:約1時間/ha(準備時間含む)

○期待される効果

- ・ウンカ等発生の場合でも、適期防除が可能

③ 支援実績等

- 水稻防除作業受託面積 R4...19ha→R6...29ha
- 防除作業だけでなく水稻の追肥作業も検討

④ 課題・今後の展開等

○ 農業用ドローンの構造上、1回の飛行時間は約10分、充電に約40分要するため、飛行時間が延びるようバッテリーの強化を望む。

○ 農薬散布前にドローンを水平に飛行させるための複雑な設定が必要のため、高齢者でも設定出来るようシステムの簡素化が必要である。

○ 自動航行は、本地区が中山間地域では場が狭く高低差があるため自動航行システムの設定が複雑なことから使用していない。今後、このような地域でも自動航行が容易に出来るシステムの開発を望む。

○ 障害物を回避するシステムが搭載されていることから、畦畔・法面の比率が高い中山間地域では、畦の草刈りが必要(畦畔の草に反応し、端までドローンが到達しない)であり、かなり労力の負担となっている。

⑤ 連絡先等(事業者)

水上村役場 産業振興課
(電話)0966-44-0314

①概要 公益社団法人 農業公社やまくに

○ 高齢化する農家等から水稲防除作業や基幹作業を受託・仲介することで、農作業負担の軽減を図り、農地の荒廃化を防ぎ農地の保全に取り組む。

受託作業は関連組織「(株)農業生産法人やまくに」が実施。

○ 所有機械:ドローン3機(オペレーター5名)

田植え機4台、コンバイン4台

○ サービス開始時期

ドローン水稲防除:令和元年

田植え・稲刈り等:平成15年

○ サービス展開地域(ドローン):中津市旧山国町

②サービス内容・期待される効果等

○ ドローンの水稲防除

・作業料金:7,500円 / 10a(2回散布。薬剤費込)

・作業時間:約3分/10a

・中山間地域の狭小な圃場でもドローン3機を活用することで適期散布とピンポイント散布によってコスト削減が図られる。

○ 田植え・稲刈り

・基幹作業の委託によって農作業負担の軽減と農業機械更新のコスト負担がなくなり、高齢農家等も安心して農業を続けられる。

③支援実績等

○ 令和6年度 ドローン水稲防除:48ha

田植え:17ha 稲刈り:42ha

④課題・今後の展開等

○ 課題

・更なる高齢化の進行による耕作放棄地の増加。

○ 今後の展開

・地域の担い手等と連携した農作業受託の取組を広域に進めていくことで、中津市の農業・農地を守っていききたい。

○ 利用者の声

・ドローンの委託防除によって適期に防除ができるようになった。



⑤連絡先等(事業者)

事業者名 公益社団法人 農業公社やまくに

電話番号0979-27-3707(平日 8:30 ~ 17:00)

HP <https://yamakunikosya.com>

①概要 株式会社 SamiSami ラボ

- 農業用ドローンの開発、組立、販売、講習、保守、防除・肥料散布の受託作業を一体的に提供し、導入農家を地域の担い手として育成することで、防除拠点を核とした地域分散型の防除体制を構築。

②サービス内容・期待される効果等

- ドローンによる薬剤散布代行サービス。
 - ・ 作業料金: 320～350円/a(税抜)
 - ・ 作業時間: 約10分/ha
- ※ 水稻湛水直播も行えます。
- 地域ごとの防除拠点において適期防除を実施し、作業の省力化・コスト削減・減農薬を実現。
- 適期の肥料散布により、生産管理の効率化や収量・品質の安定化に寄与。
- 水稻、麦、牧草、果樹、白ねぎ等の幅広い作目に対応。

③取組実績等

- 累計80名の農薬散布オペレーター(民間)資格取得者を育成。
- 防除作業面積は延べ200ha。
- ドローン導入農家を核とした地域分散型の防除拠点を構築。
- 農業用ドローン累計200機以上販売・組立し、講習・保守点検を通じて運用定着を支援。

④課題・今後の展開等

- ラジコン草刈機の販売・導入支援を通じて、農作業の省力化と安全性向上に貢献。
- ドローン導入農家を育成し、地域の作業受託者を確保。
- 防除拠点の拡充により、地域分散型の防除体制を強化。
- 迅速な修理・保守対応を強みとする地域密着型の支援体制を構築。
- 販売・講習・保守・受託を一体的に提供する地域分散型モデルの横展開を推進。



⑤連絡先等(事業者)



株式会社 SamiSami ラボ

大分県中津市大貞371-13

TEL 0979-62-9924 (平日9:00～18:00)

HP <https://www.drone-nakatsu.com/>



①概要 ciRobotics株式会社

- 大分県に本社を置く国産ドローンメーカー。
- 平成29年頃に農業分野へ参入。
- 「現場でつかえるドローン」をモットーに従業員9名で開発・販売・保守まで一気通貫で行う。
- 令和2年から大分県内を中心に防除受託サービスも展開。

②サービス内容・期待される効果等

- 国産ドローン「R-10」「R-17V3」の販売
 - ・ 10L・17Lタイプをラインナップ。
 - ・ 散布補助機能を充実させることで、熟練度を問わず安定した散布作業が可能。
- 除草剤散布ボート「ciBoatV2」の販売
 - ・ 重量5kg未満の軽量設定で片手でも持ち運びができ、簡単な操作で効率的な除草散布が可能。
- 防除受託サービス
 - ・ 農業支援サービス事業者の防除作業受託者として活動。
 - ・ ドローンメーカーならではの技術力と運用ノウハウを活かした高い精度で防除作業を実現。

③支援実績等

- 令和7年度は水稻を中心に約250ha実施。
- 国産ドローン総販売実績100台以上。



④課題・今後の展開等

- ドローン・除草剤散布ボート・自動リモコン草刈り機など幅広いラインナップを取り揃え、多様な現場ニーズに対応。



⑤連絡先等(事業者)

ciRobotics株式会社

電話番号: 097-585-5630 (平日 9:00 ~ 18:00)

HP <https://www.cirobotics.jp/>

①概要

株式会社タスクル

○経緯及び社名の由来

佐伯代表自身の出身地である五ヶ瀬町は、高齢化による離農が年々増加。若い世代も少なく、働く場もない状況。

高齢農家が長く農業継続できるように、農作業を支援し、地域を「助くる」との思いから、社名を「タスクル」とし、活動を始めた。

○起業年：令和5年1月

○従業員：代表1名、アルバイト3名



②サービス内容・期待される効果等

①防除代行サービス

・作業料金：3,000円/10a
(農薬代含まない)

②水稻直播

・作業料金：約15,000円/10a
(浸種催芽処理、鉄コーティング
播種、除草剤代込み)

目視外飛行となるような
ほ場では、ドローン等を運
用する場合、オペレー
ターの補助員の配置が
原則必要。

中山間地域では
小型のドローンが
重宝される。

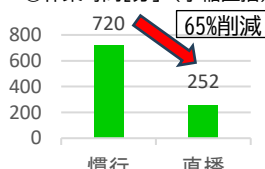
鉄粉コーティングで、
種子を重くし、播種を安定
させ、発芽率の向上を図る。

ドローンによる
水稻直播DJI製
T-10型

①作業時間[分/ha] (防除)



②作業時間[分] (水稻直播)



☆ドローンの活用で
防除75%、直播65%
の作業時間削減を実現

③支援実績等

○支援地域

・五ヶ瀬町から高千穂町まで

○対象作物

・主食用米、WCS

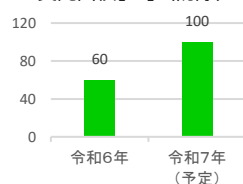
右写真のようなほ
場では、大型の機
械が使えない。

小型ドローンによ
る直播が有効。

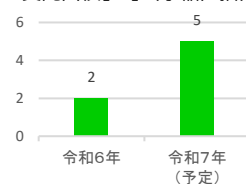


ドローンで直播を行ったほ場

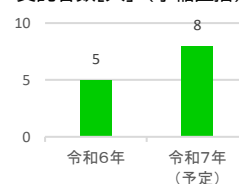
受託面積[ha] (防除)



受託面積[ha] (水稻直播)



受託者数[人] (水稻直播)



④課題・今後の展開等

○課題と要望

- ・高齢化に伴い受託作業は増加。しかし、人材の確保が困難。
- ・小型ドローンはバッテリー容量が小さく、稼働時間が短い。
- ・夏場の酷使で充電回数が増加。バッテリーの寿命が縮まる。
- ・機器更新に高額な費用がかかる。
- ・バッテリーの規格統一によるコスト削減と運用効率化を望む。

○今後の展開

- ・急傾斜地や人が入りにくい耕作放棄地等の除草作業の受託。

○利用者の声(きゅうりと米の生産者)

・防除作業をタスクルに委託したことで、きゅうりと米を両立した生産が可能となり、水田の維持と収益安定に繋がっている。

⑤連絡先等

住所：熊本県上益城郡山都町柳井原671-3

電話：090-3660-1314

※データはすべてタスクルが独自に収集・分析したものです。 宮崎県拠点(令和7年7月)作成



代表：佐伯 貴和

①概要

延岡スカイサービス株式会社

- 1998年、JA延岡青壮年部中心に「延岡地区無人ヘリ防除部会」を組織。令和元年6月、法人化。
- 無人ヘリ2機(うち1機はリース)、ドローン3機(うち1機はリース)を保有。
- JA延岡が建設した倉庫を無人ヘリとドローンの格納庫として借用。
- 2～3人でチームを組み、6月中旬～9月中旬にかけて防除作業。



無人ヘリ



ドローン

②サービス内容・期待される効果等

- 受託内容: 早期・普通期米、水稻WCS、麦の防除
- 受託地域: 延岡市、西臼杵郡、日向市、門川町
- 料金: 4,180円/10a(税込・薬剤費込)
- 作業時
 - ・委託者は申請後、対象ほ場に立て札を立てる。
 - ・周辺住民には、安全対策を講じて防除を行うことを事前告知し、理解を得たうえで実施。

③支援実績等

<令和6年度>

- ・延岡市 : 790ha
- ・西臼杵郡 : 180ha
- ・日向市 : 29ha
- ・門川町 : 9ha



④課題・今後の展開等

- 無人ヘリ・ドローンの本体価格・維持費が高額のため、機械の更新に苦慮。
- オペレーター不足が深刻化しており、事業体・JAともに人手が足りない。季節的な需要の偏りにより、通年雇用が課題。
- 大規模農家の機械化で地元の受託が減少する一方、小規模農家の依頼が増加。受託面積維持のため、熊本・大分などへ広域展開を進めている。

⑤連絡先等

宮崎県延岡市
川原崎町281-1
(平日8:30 ~ 17:00)
TEL: 0982-23-1892
(事務局) JAみやざき延岡地区本部



①概要

南那珂無人ヘリ防除協議会

○損害防止事業の一環で無人ヘリによる防除を導入。高齢化、担い手不足への対処として、平成18年から協議会による取組を開始し、南那珂地区内（日南市・串間市）の水稻の基幹防除を受託。

○事務局：NOSAI宮崎南那珂センター

○防除作業は、地元の若手農家により構成された防除受託組合に委託

（作業委託先：防除受託組合、Ks' AIR）

②サービス内容・期待される効果等

○対象とする生産者

南那珂地区内（日南市・串間市）の水稻生産者

○作業内容

早期米、普通期米等水稻の基幹防除。

周辺環境を考慮しながら無人ヘリとドローンを使い分けて防除を実施。

○所有機器

・無人ヘリ：4機（リース）、2機（受託組合所有）

・ドローン：3機（NOSAI宮崎所有）

○作業料金（無人ヘリ・ドローン共通）

1回目：4,000円/10a（いもち、紋枯れ、殺虫）

2回目：3,500円/10a（殺虫のみ）

（南那珂地区内の生産者ほぼ全域受託可能）

③支援実績等

○作業実施面積（令和7年度）

日南市：約382ha 串間市：約524ha

○近所に民家が無くまとまった広いほ場では無人ヘリを使用し、近所に民家があるほ場ではドローンを使用した。



無人ヘリ、ドローンによる薬剤散布の様子

④今後の展開等

○時代の流れと生産者のニーズに合った防除体制の確立。

○水稻生産者減少に伴う、散布面積の減少時への対応。

⑤連絡先等（事務局）NOSAI宮崎南那珂センター

所在地：宮崎県日南市南郷町谷之口1493-1

電話：0987-21-9171（代表）

宮崎県拠点（令和8年2月）確認

①概要

株式会社スカイウォーカー

○日本の農業が抱えている農業従事者の高齢化や担い手不足問題などをドローンによるスマート農業サービスを通して解決したいとの思いで、令和元年12月、農業支援サービス事業の会社を設立。
○オペレーター人数:4名(令和7年時点)
○ドローン保有台数:3台(農薬散布用)
○営業区域:宮崎県(北諸県・西諸県・南那珂地区)鹿児島県大隅半島エリア

②サービス内容・期待される効果等

○受託内容:ドローンによる肥料・農薬散布代行
○対象品目
水稲、露地野菜、果樹(みかん、ゆず、くり等)
○散布代行費用
料金は作業の種類や範囲によって設定。
(最新情報は、公式HPに掲載。)
○肥料・農薬散布の他に、ドローンスクール、機体販売、資材運搬等の事業を展開中。スクールからこれまでに、延べ120人の卒業生を輩出。
○お客様一人一人を大事に、要望の伺いから見積りまで「端まできっちり丁寧に」をモットーに散布作業を実施。

③支援実績等

○受託実績(延べ面積):2,562ha(R2年~R7年)
※R7年実績:632ha
○散布対象作物
水稲、かんしょ
さといも、かぼちゃ等



④課題・今後の展開

○水稲栽培における除草から病虫害防除までの農薬散布を、地区全域でよりきめ細かくサポートするとともに、大型機の導入による果樹等への防除作業にも対応範囲を拡大する。



⑤連絡先等

(公式HP) <https://sky-walker.co.jp/>

所在地:宮崎県都城市平塚町2980-2

電話:0986-51-8823



宮崎県拠点(令和8年1月)作成

①概要

株式会社アグリプラス

○地域の農家がドローンを手軽に利用できる受け皿として、令和元年に受託組織を設立。

・オペレーター:23名(令和7年度)

・ドローン保有数:5機

(DJI製 MG-1:2機、T10:1機、T20:1機、T25:1機)

○作業受託のほかに、農業資材の卸売業者と共同で、農業用ドローンの講習会を随時実施。

②サービス内容・期待される効果等

○ドローンによる農薬散布料金

・早期水稻:3,300円/10a~3,500円/10a(税込)

・かんしょ:23,000円(0.1~1ha未満)、21,990円(10ha以上)※薬剤込み

○ハウス屋根の遮光剤・洗浄剤(汚れ除去剤)の散布料金(ハウスの上からドローンにより散布)

・単価:27,000円/10a(税込、薬剤別)

※生産者からは、「作物の色ぼけ改善」「不適合品の減少」など、口コミで評価が拡大。利用者が増加。また、夏場のハウス内の作業者の労働環境の改善にも寄与。



ハウス屋根の散布

③支援実績等

○ドローンによる農薬散布(R7年)

(水稻:約370ha、かんしょ:30ha)

○遮光剤・遮熱剤・洗浄剤の散布(ハウス:5ha)

○ドローン操縦教習会(年10回程度)

・これまでに、40回開催し累計160名が受講。5日間の教習で認定証を交付。国土交通省への認定許可申請時に提示することができる。



かんしょの防除



新機種説明会

④課題・今後の展開等

○ドローンの販売に加え整備・年次点検を実施

○ドローンによる果樹防除の実用化に向け準備中

○畜舎等への散布作業を調査・研究中

⑤連絡先等

所在地:宮崎県宮崎市大字本郷南方4142

電話:0985-89-4664(代表)

宮崎県拠点(令和7年12月)確認

①概要

串間市かんしょ産地対策会議

○青果用かんしょの産地である串間市では、近年「サツマイモ基腐病」による甚大な被害を受けており、県、串間市、JA、農業法人等が参画し、令和元年7月、「串間市かんしょ産地対策会議」を設立。

○同会議は、防除体制の強化と防除効果の確立を図るため、若手生産農家を中心に「ドローン防除受託組合」を設立し、活動を支援。



ドローン防除受託組合

②サービス内容・期待される効果等

○防除受託組合では、JAと連携し、串間市全域のかんしょ生産者からほ場の防除作業を受託。

- ▶ オペレーター 9名（若手生産者）
- ▶ ドローン 5機（内リース1機）

○生産現場では、労働力の軽減や生産性の向上（病虫害被害の抑制）に繋がることが確認できた。

○委託した農家からは、広域防除による効果等もあり好評を得ており、今後も防除委託の増加が見込まれる。

③支援実績等

○受託面積（農薬散布面積）（令和6年度）
実面積：335ha 延面積：450ha



ドローンによるかんしょほ場の農薬散布

④課題・今後の展開等

○ドローン防除体制によるほ場の一斉防除や、効果検証を引き続き実施し、被害を抑制することで農家所得の向上につなげる。



串間市かんしょ産地対策会議

⑤連絡先等

窓口：宮崎県串間市農業振興課
電話：0987-72-1111（代表）

①概要

テラスマイル株式会社

○農業を、経営という視点から、デジタルデータを活用して分析するベンチャー企業。農家向けのほか産地（指導員＋農家グループ）の競争力強化にも挑戦。

②サービス内容・期待される効果等

○根幹をなす提供システム

「RightARM」(ライトアーム)は、農家を取り巻く栽培情報、経営情報、販売情報、関連機器情報を集めてデータ加工・分析の仕事を終わらせるコラボレーションハブ。

○農家と指導員の共通ツールとして、農家の利益を最大化したいと願う産地指導者が基盤を導入し、産地農業者を結び付け、システムを統合し、産地農業の形式化を前進。

○大規模農業法人や自治体・JAで基盤を導入し、手軽にスピーディに営農データ統合分析システムを資産化。※補助事業の活用にも対応



システムイメージ



ワークショップ風景

③支援実績等

○宮崎をはじめ南九州で生産者とともにRightARMを開発。2021年から全国展開をスタート。その後3年で全国29都道府県41か所、国内主要29品目で活用。

【導入事例】

○ピーマン生産者グループ約15名で導入し平均反収20%アップ

○普及指導員・JA営農指導員グループで導入しデータ活用人材を育成

○農業法人で導入し従来アナログで行っていた作業（データ収集や判断）を自動化・効率化

④課題・今後の展開等

○急速に進む行政機関での営農データ統合分析システムへのニーズ対応。

○産地（川上）から消費地（川下）まで農産物情報をつなぐプラットフォームの構築、およびGHGや出荷予測など付加価値の高いデータの実装。

⑤連絡先等

（公式HP）<https://terracedmile.jp/>

所在地：宮崎県宮崎市錦本町4-5 ひなたキャンパス2階

電話：0985-65-9196（代表）

宮崎県拠点（令和8年2月）確認

①概要 株式会社ひのかげアグリファーム

○2016年10月設立、自治体出資型株式会社

○従業員

・常勤雇用:6名(21歳～49歳)

・パート雇用:14名

○保有する機械

・ドローン2台・コンバイン4台

・トラクタ2台・ハンマーナイフモア2台

○2017年4月サービス開始

○日之影町内全域

②サービス内容・期待される効果等

○水稻防除サービス

・作業料金:4,000円/10a・作業時間:約30分/ha

○農作業受託サービス

・田植え・米収穫作業

・耕作放棄地等除草

・樹園地下刈

○期待される効果

・地域の農地保全。

・高齢農業者の労働力軽減。



ドローン防除作業

③支援実績等

○令和4年度は約117ha実施。
(内水稻ドローン防除70ha)



ハンマーナイフモア作業

④課題・今後の展開等

○課題

・地域の高齢化により作業受託依頼が増加し、作業を担う労働力不足。

○今後の展開

・果樹栽培(栗・柚子)急傾斜地における防除作業を検討

○サービス利用者の声

・高低差の激しい土地で、あっちこっち散らばる田での米作りは容易ではない。水稻全作業を担っていただき、心から感謝している。



WCS刈取り作業

⑤連絡先等

住所:宮崎県西臼杵郡日之影町大字七折2610-11
電話:0982-73-8030(平日8:00～17:00)

①概要 空種子合同会社



- これまで、水稻・麦・いも類など1,000haを超える散布実績
- 西之表市農業公社受託作業部会に所属し、同公社等と連携し受託作業を実施
- 島内の水稻防除が終了する8月以降は、県本土などでも水稻などの受託散布を実施

②サービス内容・期待される効果等

- ドローンでの防除
 - ・ 作業料金(薬剤別)
 - 【米・麦・大豆・露地野菜】
(粒剤・粒剤・水和剤)
約2,750円／10a(税込)



水稻の防除

- 【かんしょ・ばれいしょ・さとうきび】
約2,750円／10a(税込)



ばれいしょの防除

- 農薬指導士による的確な農薬選定、助言が受けられるとともに島内における的確な適期防除が可能となることが期待される。

③支援実績等

- 令和6年度は、水稻、かんしょ、ばれいしょにおいて約150haで実施
- 令和7年度は、無人自動運転散布車両により、スナップエンドウ約9haで散布を実施



スナップエンドウの防除

④課題・今後の展開等

- 課題
 - 繁忙期のドローンオペレーター確保や技術的に信頼できるオペレーターの育成
- 利用者の声
 - ・ 重労働だった薬剤散布を委託することで他の作業に時間を割ける。
 - ・ 動噴散布の時より、散布農薬が3～5割減らすことができた。

⑤連絡先等(事業者) 鹿児島県西之表市国上2

電話:080-8637-2510(代表・高井和道)

フェイスブック <https://www.facebook.com/SORATANE8008Tanegashima>

①概要

(有)鹿児島船舶塗装工業所
アグリかわさき

- 完全自動運転の農薬散布ドローン及び無人自動運転散布車両(以下「自動散布車両」という)の販売と散布受託
- 特に、生産条件等を踏まえ自動散布車両「XAG R150」をカスタマイズ
車幅 : 109cm → 67cm
駆動 : 4輪 → 6輪
タンク : 100L → 200L 等
- 鹿児島県内は、離島を含めサービスを展開



XAG R150をカスタマイズ



YouTube動画

②サービス内容・期待される効果等

- 自動飛行ドローン「XAG P60、P100」の販売・サポート
- 自動散布車両「XAG R150」の販売及び散布受託(果樹・野菜類)
- 農家負担の軽減(労働時間・労力等)が期待される。



XAG P100

③支援実績等

- ドローンでの防除受託作業を、水稲・大豆・かんしょ等で約50ha実施
- 自動散布車両でのオクラ、スナッPEndウ、かんきつ等への散布実証を指宿市、種子島等で実施



スナッPEndウへの散布状況

④課題・今後の展開等

- 課題
農業支援サービス拠点の整備
(機械の共同利用、稼働率向上等)
- 利用者の声
 - ・ 自動散布車両での散布は効果が高く、作業者の被ばくが格段に少ない。また、農薬使用量も削減できる。
 - ・ 地域で請負を行う専門事業者が望まれる。



かんきつへの散布状況

⑤連絡先等(事業者)

HP : <https://aguri-kawasaki.jp/>

鹿児島市清水町31-8

電話 : 099-248-5333(代表)

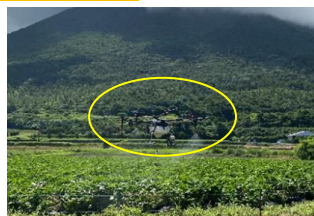
担当 : 川崎 080-3753-3864

①概要 (株)エアリアルワークス

- 鹿児島県内において、水稻・畑作物・果樹を中心に、ドローンによる防除作業を受託
- ドローンを用いた耕作放棄地調査や作付確認調査等のスマート化事業を、令和元年度から開始
- ドローンスクールの運営、卒業生へのアフターサポート、農業用ドローンの販売・レンタルを実施。また、各地域に在住するスクール卒業生と連携し、アウトソーシングを実施

②サービス内容・期待される効果等

- ドローンによる作業受託
 - ・液剤(殺虫・殺菌)、粒剤(除草剤・肥料)の散布
 - ・洗浄・除菌、遮光剤等塗布
- 作業料金(※薬剤・遮光剤は別途)
 - ・農薬散布：2,000円/10a(税別)
 - ・ハウス屋根遮光剤塗布：3,000円/10L(税別)
 - ・畜舎屋根石灰散布：10万円(税別)～
※棟数、面積により応談

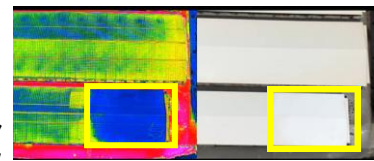


ドローン防除

- 農家の負担軽減(散布時間、飛行申請手続き等)が期待される。

③支援実績等

- 鹿児島県と熊本県において、防除及び肥料散布を約300haで実施
- 令和7年度は、鹿児島県、長崎県、熊本県、佐賀県において、畜舎屋根へ石灰水を散布。赤外線カメラで、塗布面の気温が明らかに低下していることを確認した。

赤外線と可視光での撮影
(黄色枠が、塗布部分)

④課題・今後の展開等

- 課題
 - ・スマート農機シェアリング体制の普及・推進
 - ・ドローン技術の普及・人材育成
- 今後の展開
 - ・対象地域や品目を拡大する予定
- 利用者の声
 - ・畜舎屋根への石灰散布は、通常、足場等の手間も人手もかかるが、ドローンだとかなりの省力化となる

ドローンでの畜舎屋根
への石灰散布サービス
利用者

⑤連絡先等(事業者)

鹿児島市真砂町35-6

Mail: school@arws.jp

電話 099-203-0932(代表)

HP: <https://arws.jp/>

①概要

JA鹿児島県経済連

- JA鹿児島県経済連は若手職員をドローンオペレーターとして育成・配置
- 令和元年度から組合員の作業を受託し、ドローンを活用した防除・施肥を開始



②サービス内容・期待される効果等

- 組合員からの作業申込み後、JA職員とほ場確認や薬剤選定を行い、その後、経済連職員がドローンによる防除・施肥を実施
- 1回の防除は、約3～5名(オペレーター、薬剤調査者、ほ場案内者等)で実施
 - ・ 作業料金: 約3,700～5,200円/10a(税込)
(薬剤費込、料金は薬剤により変動)
 - ・ 作業時間: 約15～20分/ha
※ JA南さつま(かんしょ)の例
- 組合員の負担軽減(労働時間、散布計画書等の作成提出、機械の管理費用、薬剤選定・手配)が見込まれる

③支援実績等

- 離島を含む県内各地で令和7年度は、水稻、ばれいしょ等を中心に防除・施肥を実施
実績: 防除 約370ha、うち施肥(液肥) 約75ha



かんしょ



水稻



ばれいしょ

④課題・今後の展開等

- 課題と対応
増加する受託作業のため、令和6年7月より農薬散布チーム「ママミーアキャット九州」へ防除を委託。今後も、体制強化の為、ドローン事業者等への委託を検討
- 今後の展開
さとうきび、さといも、かぼちゃなど対象作物を拡大し、県内全域を対象としたサービスを展開
- 利用者の声
従来の動力噴霧器による防除に比べ、本サービスによる省力化の効果は非常に大きい

ママミーアキャット九州
による防除作業

⑤連絡先等(事業者)

JA鹿児島県経済連 農産事業部 肥料農薬課
鹿児島市鴨池新町15番地 電話: 099-258-5485

①概要 (有)南西サービス



- 徳之島全地域を対象に、さとうきびのトラクタ作業を受託
- 受委託調整にKSASを導入し、受委託調整及び作業を効率化
- KSASは、平成30年期から本格的に活用を開始



②サービス内容・期待される効果等

- ハーベスタ収穫、トラクタ耕起作業、ビレット・全茎式プランタ植付、管理作業等を受託
 - ・ さとうきび収穫作業：6,050円/t (税込)
 - ・ トラクタ作業：作業毎に料金設定
 - ・ KSASへの農家・ほ場情報の事前登録が必要
 - ・ 受委託調整センター本部から業務委託を受けた当社が調整業務を担う



- 適期作業が可能となり収量UPや作業受付時間の短縮の効果

R7年、6.136t/10a (目標5.769t/10a) (徳之島全体の平均単収)

③支援実績等

- 令和7年度は、延べ面積 932ha で実施
- 受委託作業は、当社と協力農家150戸が連携



④課題・今後の展開等

- 課題
 - 島内全域を対象とするため、島内全ほ場のデータ(30,318筆)の一元化
- 今後の展開
 - ・ スマート農機を活用し、ほ場情報のサービス展開を予定
- 利用者の声
 - ・ 作業指示がスマホで出来、日誌まで連動しており便利。



⑤連絡先等(事業者)

鹿児島県大島郡天城町兼久2337
0997-85-4877(代表)

①概要 株式会社Newアグリ(旧(株)菜果野アグリ福岡)

農産物の生産から商品化まで、すべての農作業を受託し、日本の農業と食生活を支えます。

○個人農家、生産組合、生産法人、JA様等から委託を受け、生産準備、生産管理、収穫、選果、箱詰め等、農産物の生産から商品化にかかる各ステージの作業支援を行っています。



いちごの管理

②サービス内容・期待される効果等

○農作業の受託範囲

福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県と北部九州を中心に農作業を受託しています。

※令和6年度に阿蘇市に事業拠点を開設、業務拡大中

○サービス内容

事前見積にて契約締結、責任者が作業の指導・指示・確認を的確に行い、受託業務を完遂します。

作業スタッフにとって働きやすい環境を整備するとともに、作物ごとの作業研修を行い、あわせて詳細なマニュアルを作成するなど、作業スタッフの確保とスキルの向上を図っています。

③支援実績等

○令和6年、7年のいずれも労働力支援者数が2万人を上回る実績をあげています。

○令和6年度に労働力確保体制強化事業(産地間連携等推進タイプ)を活用して、福岡市近隣の労働力を阿蘇地域に投入する労働力支援(※)を行い、マイナビ農業で紹介していただきました。

(※)福岡と阿蘇は気候条件に大きな違いがあり、同じ作物でも繁忙期が違ってきます。

これを逆手にとって、効率的な労働力支援と短期間でのスタッフの作業経験値向上を両立することができました。



キャベツの収穫

④課題・今後の展開等

○作業依頼と作業スタッフの確保が課題。作業研修やマニュアルを細分化して各作物の作業項目ごとのスペシャリストを育成して、これからも生産者が必要とする人材の提供を行っていきます。

⑤連絡先等(事業者)

株式会社 Newアグリ
福岡県福岡市東区若宮1-8-25
電話番号 0120-831-444
HP <https://www.newaguri.com>



ブドウ摘果講習会

①概要 株式会社 西部技研（古賀市）

- 「独自の発想と技術で物真似でない製品を生み出し、社会に貢献したい」が原点。
- 創業1962年、従業員数392名。
- 空気環境創出に関するお悩みを解決する製品・ソリューションの開発、設計、製造、設置・施工、メンテナンスや交換。
- ハニカムローターで世界各国で100件以上の特許を取得。

②サービス内容・期待される効果等

ハウス栽培向け大気中二酸化炭素(CO₂)濃縮・供給装置「C-SAVE Green®」

濃縮CO₂で収穫量約27%UP！

→約2年半で投資回収可能！！

燃料不要！ボンベ不要！

空気中のCO₂を集めてハウスへ供給！



レンタル料金

型番		CAP-0320G40-GE	CAP-0550G40-GE
CO ₂ 供給量	kg/h	～0.45	～1.5
施用面積(イチゴ局所施用)	a	3	10
1シーズン(初年度、6ヵ月)	円	20万円	40万円

③支援実績等

- 販売と並行し、静岡及び広島の生産者へレンタル開始。また、開発中からモニターとしていちご以外(トマト、レタス、ピーマン、きゅうり)の生産者への無償レンタルも実施。

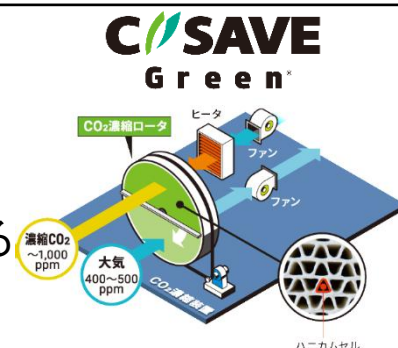
④課題・今後の展開等

○課題

- ・製品の認知度の低さ。
- ・CO₂脱着時のヒーターによるランニングコスト。

○今後の展開

- ・さらなる「CO₂濃縮・供給措置「C-SAVE Green®」の周知や、脱着時のヒーターに替わる再生可能エネルギーの検討。
- ・製品機能を絞ることによるコストダウンや新商品開発のための無償モニターの実施。



⑤連絡先等(事業者)



株式会社 西部技研

電話番号092-942-3844(平日 9:00 ～ 17:00)

HP <https://www.seibu-giken.com>

①概要

AGRIST株式会社

- 設立:2019年10月
- 事業内容
 - ・AI搭載の自動収穫ロボットの開発・レンタル
 - ・農業用ソフトウェアの開発(栽培管理・収穫予測)
 - ・スマート農業パッケージの提供
- ビジョン
 - ・100年先も続く持続可能な農業の実現
- 特徴
 - ・農家の声から生まれた課題解決型スタートアップ
 - ・自社農場での実証・展開による現場密着型開発
- 関連技術
 - ・「AGRIST Ai」:農業特化型AIによる栽培支援
 - ・「あぐりすたんと」:LINE連携の農業アシストAI
 - ・自動収穫ロボット「L」「Q」などを展開中

②サービス内容・期待される効果等

- AGRIST Ai
 - ・市況予測、収穫量予測、栽培計画支援
 - ・タブレット端末で直観的に操作可能
 - ・AIが最適な栽培管理を提案
- 自動収穫ロボットの導入
 - ・AI画像解析で収穫適期を判断し、自動で収穫
 - ・データ収集による栽培改善と収量向上

③自動収穫ロボット「Q」

- 対象作物:きゅうり
- 移動方式:ハウス内のレール上を自動走行
- 収穫機能:AIカメラできゅうりを認識、収穫適期サイズを判断して自動収穫
- 操作・管理
 - ・タブレット端末で操作・データ確認が可能
 - ・クラウド管理で、収穫データや稼働状況をリアルタイムで把握



【写真提供:AGRIST株式会社】

④今後の展開等

- 2023年農林水産省「中小企業イノベーション創出推進事業」に採択された。今後は、茨城県常総IC周辺の3haの実証農場で、農作業の自動化・効率化のための革新的スマート農業技術・サービスの開発・実証を加速させ、全国展開を推進する。

⑤連絡先等

所在地:宮崎県児湯郡新富町富田南1丁目53-1
(公式HP) <https://agrist.com/>

①概要 株式会社Core-Support

- 2019年9月設立
- 2019年11月、全国の畜産農家と対話を重ね、自社で遠隔監視カメラシステム「MOWCAM」を開発・製造し、全国の畜産農家へ供給を開始。
- 遠隔監視ソーラーカメラ「農CAM」も独自開発し供給。

②サービス内容・期待される効果等

「MOWCAM」

- 夜間の映像もハッキリ。
赤外線カメラにより、夜間でも照明なしでハッキリ確認できる。
- 様々な場所に設置可能。
インターネット回線不要(Wifi不要)。コンセントに挿すだけでどこでも設置できるため、監視対象の牛の変更が簡単。短期レンタルも実施。
- 活用方法
 - ・ 分娩室付近に設置し分娩兆候を確認。
 - ・ 産後の仔牛と親牛の様子を確認。
 - ・ 体調の悪い仔牛の近くに設置し呼吸の有無を確認。
 - ・ 録画データの再生で発情行動を確認。
 - ・ 体調不良などの注意牛の近くに設置し様子を確認。



③支援実績等

「MOWCAM」

- 全国39県で1,000台以上の導入実績(2025年6月現在)。
- 大学の農学部や農業系高校のほか、自治体の試験研究機関でも導入。

④課題・今後の展開等

- 今後の展望
カメラ、モバイル通信、AIを組み合わせた新たな機器開発。
(現在、AIの精度を向上させるためのデータを収集中。)
- 「MOWCAM」利用者の声
 - ・ 様子観察、視診、分娩等24時間向き合う管理体制が確立した。
 - ・ 自宅でカメラを見て分娩介助をするのかしないのか、判断ができるようになった。
 - ・ 牛の分娩事故の軽減、夜間見守りも簡単になった。
 - ・ 年間労働時間を120時間程度削減できた。

⑤連絡先等(事業者)

株式会社Core-Support
電話番号: 090-9075-8818
E-Mail: t.nakamoto@core-support.biz
HP <https://core-support.biz/company>



公式ウェブサイト

①概要 ファーマーズサポート株式会社

- 事業体の特長：2015年より農家の声を聴きながら、課題解決の仕組みの提供を目指しシステムの開発・実証に取り組み、2021年よりシステムの販売を開始。
- 従業員数：3名
- サービス開始時期：畜産農家の初期投資費用軽減のため、サブスク事業を2025年から開始。
- サービス展開地域：全国

②サービス内容・期待される効果等

- MOOVIE発情検知・分娩予兆検知サービス
料金：月額2万円～/1セット（ゲートウェイボックス、AIカメラもしくはIPカメラ・LEDライト）

- 期待される効果
発情の見逃しや分娩事故は経済的損失に繋がるため、人が見回りしていた。代わりにAIカメラが24時間365日牛を見守り、スマートフォンに発情検知等のアラートが届くことで、他の業務に専念でき、業務の効率UPにつながる。



③支援実績等

- 発情検知システム・分娩予兆検知システムのサブスクを鹿児島県内で約20件提供中。

④課題・今後の展開等

- 課題
より効率的な受胎管理のため、MOOVIEアプリに空胎期間等のデータ管理機能を付加。
- 今後の展開
データ管理機能を2026年6月より提供予定。

- 利用者の声
発情の見逃しがほぼなくなり、受胎率も向上。分娩事故も減り、年1産に近づけることができた。



⑤連絡先等(事業者)

会社名 ファーマーズサポート株式会社
 電話番号 099-808-8563（平日10:00～17:00）
 HP <https://farmers-s.co.jp/>



①概要

株式会社オプティム



- 「Agri Field Manager」を自社開発し、そのソフトウェア上で「病害虫検知」「施肥診断」「ピンポイント散布・施肥」といった機能を追加、実装。
- Agri Field Managerへ他社アプリ、ハードウェアを連動させ、一つのプラットフォームで多様なサービスをエンドユーザーへ提供することを目指す。

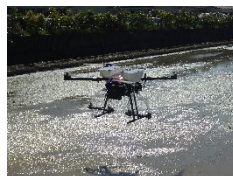
②サービス内容・期待される効果等



圃場マップ表示



画像データ管理



播種ドローン

【Agri Field Manager (AFM)】

- AFM上に学習データ(AI)を蓄積させていく事で病害虫や施肥診断をAIにて自動判定させる事が可能。
- 営農計画書、筆ポリゴン情報、空撮画像を取り込み、作付確認の現地確認作業の効率化支援

【ピンポイントタイム散布サービス】

- ドローン散布作業だけでなく、散布適期予測と散布対象圃場マッピング化による効率的な散布実施。

【水稲用播種ドローン】

- ドローンを活用した打ち込み方式の水稲湛水直播。

③支援実績等

【Agri Field Manager】

- 石川県「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」にて大豆、麦の広域空撮画像からの栽培指導活用実証として活用
- 佐賀県、長崎県、宮崎県等の自治体にて作付確認ツールとして導入

【ピンポイントタイム散布サービス】

- 全国約7,000haにて農薬散布サービスを実施（水稲）
水稲以外の園芸作物も各地で実証

【水稲用播種ドローン】

- 全国約70haで播種実施

④課題・今後の展開等

【ピンポイントタイム散布サービス】

- 地元企業との連携したドローン散布サービスの展開

【圃場マッピング化の効率化】

- 高精度な圃場情報（筆ポリゴン）の取得、活用

【ドローン播種】

- 「スクミリンゴガイ、ウンカ等に対応した栽培技術の確立

⑤連絡先等

佐賀県佐賀市本庄1
0952-41-4277

①概要 (株)ルートレック・ネットワークス

- 2005年8月に設立
- 予報日射量と土壌水分量の両方で制御する独自のシステム(AI灌水施肥システム)である「ゼロアグリ」を2013年に提供開始(2024年7月には、新モデル「ゼロアグリLite」、「ゼロアグリPlus」もリリース)
- データに基づく「根拠ある農業」の実現を目指す

②サービス内容・期待される効果等

- 「ゼロアグリ」は、土壌水分量、EC値、日射量などのセンサー情報をもとに、灌水を自動制御することで、手作業による灌水の手間を削減し、安定した栽培管理を実現。
- 「ゼロアグリ」が灌水施肥等制御する際、ネットワークを通じてクラウドと通信。栽培環境や灌水履歴をクラウドに自動保存し、グラフやレポートで見える化。経験に依存せず、科学的な根拠に基づいた栽培判断をサポートする。
- 各種センサーの情報を基にAIが蒸散量を推定して作物の水分需要を解析。必要な分だけ正確に給水することで、生育のばらつきを抑え、収量・品質の向上を期待できる。
- 長崎県内でのシェアも拡大している。利用者の実績データから、「灌水にかかる時間の削減」や「減肥や省力化ができ、収量増につながる」といった効果が見られている。

③支援実績等

- AI灌水施肥システム「ゼロアグリ」
 - ⇒ 全国で450台以上の導入(長崎県16台導入)
 - ⇒ みどり投資促進税制対象機器の第一号
- 長崎県壱岐市において実証圃場「ルートレック・ファーム」を開設

④課題・今後の展開等



○今後の展開

2040年に向けた「スマートビレッジ構想」ビジョンを発表(令和7年7月25日)。ゼロアグリシリーズを活用した、ルートレック・ファーム(第二圃場:足場管を利用したNNハウス×アスパラガス高畝栽培×スマート農業)を長崎県壱岐市で運営開始。スマート農業技術をパッケージ化し、生産性の高い農業をモデル化することで雇用創出・産地売上拡大を目指す。



⑤連絡先等(事業者)



会社名 株式会社 ルートレック・ネットワークス
壱岐オフィス、福岡オフィス、神奈川本社
電話番号 044-819-4711
ホームページ <https://www.routrek.co.jp/>

①概要



- 1987年設立
- 2015年農業ITプラットフォーム「みどりクラウド」を提供開始
- 2017年東京証券取引所スタンダード市場上場
- 2024年AIがモニタリングデータを分析、圃場に合わせたアドバイスを提供する「データ分析」提供開始



②サービス内容・期待される効果等

- 圃場環境をカメラやセンサ(温湿度、CO₂、土壌水分・温度・EC、日射量)で2分毎に計測。データはスマホやPC、Apple Watchから確認可能。
- 上記蓄積された圃場環境のデータをAIが分析し、病虫害のリスクや光合成状況、圃場環境を評価し改善点をコメントするデータ分析サービスを提供。
- 南島原市におけるアスパラガス栽培の体系化を目的とした実証プロジェクトではカメラ画像の分析による黄化判断や画像判定AIによる自動選別を実装し栽培マニュアルを作成。
- ユーザーの声
「みどりクラウドの導入により感覚値での判断から脱却、生育促進、品質安定、生産性向上による収量増加を実現できました。また、みどリスイッチの導入により省力化も実現できました。」
長崎県南島原市 | イチゴ生産者

③支援実績等



- 長崎県で累計70箇所以上の導入。
- 令和2年から南島原スマート農業推進コンソーシアムのメンバーとして、農業者、市、JAなどと連携、スマート農業実証プロジェクトに取り組んでいる。
- 2024年11月 低コストで遠隔制御を実現する「みどリスイッチ」を販売開始。
- 2023年 集出荷作業を省力化する「らくらく出荷」を提供開始し日本DX大賞優秀賞を受賞。

④課題・今後の展開等

- 提供開始からの10年を踏まえ、日本の農業が抱える課題を解決するために、生産現場を支援するモニタリングサービス以外にも必要だと判断した。
- AIを用いた青果出荷量予測情報の提供、誰でも簡単にAIを活用できる「データ分析」の提供、有機農産物の新たな流通方式の確立に向けた実証開始等、データの利活用と流通現場のDX化を重視して、研究開発・サービス運営を続けていく。

⑤連絡先等(事業者)

東京都新宿区西新宿7-5-25
西新宿プライムスクエア6F
株式会社セラク みどりクラウド事業部
03-6851-4831



①概要 株式会社 Agriee

○ 人工衛星データを活用し作物の生育状況を可視化するシステム「GrowthWatcher」を開発。

②サービス内容・期待される効果等

【 GrowthWatcher 】

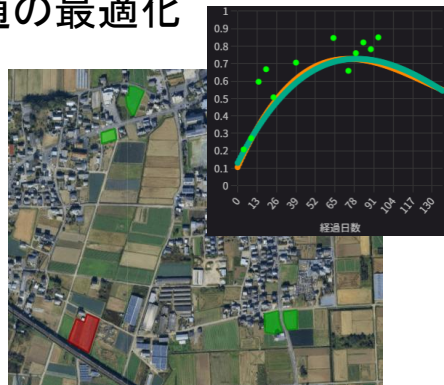
- ・圃場の作物ごとに生育状況をグラフ化
- ・生育異常時のアラート通知機能
- ・生産者と実需者間での情報共有
- ・データに基づく生産・流通の最適化

○ 生産者

- ・圃場見回りの効率化
(異常圃場のみ重点確認)
- ・データ活用による施肥
- ・土づくりの高度化
- ・生育判断の均質化

○ 実需者

- ・契約産地の生育状況把握
- ・仕入産地・時期の適正判断
- ・現地訪問への人件費・交通費・移動負担を削減



③支援実績等

- ・2県の自治体、生産者(中規模以上)、JA生産部会、農業高校、食品事業者、資材メーカー等
- ・対応作物(露地栽培): キャベツ、レタス、ネギ、大根、白菜、スイートコーン、人参、茶等

④課題・今後の展開等

○ 課題

- ・生産者側への情報発信
- ・予測機能等の追加

○ 今後の展開

- ・生産者と実需者のマッチング機能
- ・API連携による他サービスとの統合
- ・気象・市況データとの連携
- ・自治体連携による普及拡大

○ ユーザーの声

- ・生育状況を可視化できる点や機能がシンプルで操作が容易と好評価



⑤連絡先等(事業者)

本社: 東京都杉並区下井草
 竹田オフィス: 大分県竹田市大字竹田1995-1
 HP: <https://agriee.co.jp>



①概要

JAみやざき(宮崎中央、西都地区本部)

○宮崎中央地区本部・西都地区本部では、令和2年度から、施設園芸ハウスの暖房用重油タンクにセンサを設置し、重油残量を通信回線を利用して集積、分析して、重油の効率的な配送及び漏油リスクの回避。



装置ハウス全景

②サービス内容・期待される効果等

○重油残量は、圧力センサを使い測定。

○データの通信は、西都地区本部はKDDIを利用し1日1回残量を送信。宮崎中央地区本部はNTT西日本を利用し、1時間毎に残量を送信。送信されたデータはクラウドに蓄積され、一元的に管理。配送計画に活用。

○油漏れに繋がる流量異常時には、異常通報あり。

○蓄積されたデータは、地区本部等で使用量・残量等を確認可能。宮崎中央地区本部では、各農家からパソコンPC、タブレットやスマホ等で確認可能。

○重油タンクに設置するセンサは、専用の電池を電源としており、配線は不要。電池は定期的に交換。(電池の交換は、機種、通信回数等の違いにより、西都地区本部は5年毎に、宮崎中央地区本部は1年毎に交換。)

③支援実績等

○現在、西都地区本部では全体の8割に設置。残り2割は給油の頻度が少なく設置の必要なし。宮崎中央地区本部は全てのタンクに設置完了。

宮崎中央地区
本部装置西都地区
本部装置

④課題・今後の展開等

○これまでは、農家・職員が重油タンク1つ1つを見回り、残量を確認して補充していたが、集積されたデータを基に計画的に配送することにより、業務の効率化やコストが削減。

○油漏れの探知が可能なことから、油漏れによる重大事故防止に活用。

○集積されたデータを関連情報とリンクすることにより、他の業務に活用が可能。

⑤連絡先等

○宮崎中央地区本部 経済部(0985-89-4663)

○西都地区本部 経済部農自燃料課(0983-43-3113)